

① 七人の侍

弱肉強食の戦国乱世。作物の収穫時期になると野盗に襲われる農民が三度の飯を条件に浪人を雇う。前半の浪人を集めるシーンでは一分の隙も見せない剣豪もいれば、頭を叩かれてのびてしまう偽侍ありと笑いの連続。後半の合戦は迫力満点で、巧妙な作戦でつくき野盗が次々に倒されていく。

この痛快な映画をあえて違った角度から見ると、極めてNPO的である。如何に腹をすかしているとはいえ、知行や恩賞もなく、農民のために命を掛けている。最初は三度の飯付きと言う有償ボランティアだったが、農民の窮状を目の当たりにして無償で野盗と戦っている。NPO活動の昇華した姿とも言えるのではないだろうか。実際にはこんな人間がいるわけではないなどと味も素っ気もないことは言いっこなし。見ていて爽快な気分になれる。

(T.K 記)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

② MI-2

『おはようフィリップス君』で始まるあまりにも有名な冒頭のフレーズは、決まって『例によって君もしくは君のメンバーが捕らえられ、あるいは殺されても、当局は一切関知しない。成功を祈る』(ジュワツと録音が消去される)で締めくくられる。

ここから想像するに、公的機関が民間に何か“ヤバツイ”仕事を委託している設定であることは間違いない。問題はこの受託者(フィリップス君)が企業かNPOかという点。アメリカ的な常識からすれば、何らかの報酬が支払われていることは当然としても、フィリップス君の組織が営利を目的としたものかどうかは判断出来ない。

ただ、一つ言えることは、死と隣り合わせの極めて危険なミッションの遂行を結構「楽しんでいる」ことである。このことは興行的に成功するスパイ映画に共通している。MIのIはInterestingのIか?

一方、持続し成功するNPOであるためには「楽しんで」参加出来ることがこれまた極めて重要。Mission & Interestingがスパイ映画とNPOの意外な共通項なのであります。ナンチャッテ!
(S.O 記)

③ ロード・オブ・ザ・リング

全世界で読まれ、愛されてきた大作「指輪物語」(原作J.R.R.トルキン著)の長編映画3部作。主人公はホビット族の青年フロド。登場する「指輪」は、冥王サウロンが創った邪悪なもので、サウロンはこの悪の指輪で世界を支配しようとする…といったストーリーです。

指輪を手にしたフロドを中心に結成された仲間たちが、NPOにかかせない「目的共有体の組織」となって立ち上がります。そして「思い(世界を救う)」を「成果(指輪を捨てる)」に結び付けようと、起こす「行動」が、すなわち、社会問題となっている指輪を狙う悪の冥王サウロンの追手から逃れて指輪を抹消すること…。息をもつかせぬ壮大なドラマが繰り広げられるのです。もちろんその間に会議も行われ、目的達成のために、協力者も募っています。

ここで、ふと頭をかすめたのが『ブッシュマン』。ある日空から降ってきた空き瓶が便利だと気づき、奪いあう村人…そして原因となる空き瓶を地球のはずれまで捨てに行く…。

似てるようで違うのが、一人で捨てに行くか、仲間の協力のもとに捨てに行くのか…といったあたりでしょうか… (Y.T 記)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

④ 究極のNPO「サンダーバード」

大富豪トレーシー家が南国の島に「国際救助隊」の秘密基地を建設し、世界各国の困った人々を無償で助けるといふ凄作です。名声などの見返りを期待せずに世界のために働くという、正にNPOの中のNPOと言えるでしょう。登場人物は、リーダーであるお父さん、スコットを長男とする5人兄弟、参謀役のブレインズ、セクシーな中国人ミンミン、謎の美女ペネロープ(声:黒柳徹子)、運転手パーカー(元泥棒)、などです。5人兄弟が操作するサンダーバード1号から5号までのハイテク機器の素晴しさは絶品ですが、一体いくらお金があったらあんな基地が作れるのでしょうか?疑問は尽きません。では、「はいパパ、発進します。」(M.S 記)

♪ **NPO 論 楽** ♪

~~映画に見るNPO~~

『NPO論楽』と題したこのコーナーは、とかく難しくなりがちなNPOの論議を、やさしく解きほぐしながら「論を楽しむ」コーナーです。

今回は映画に焦点をあてています。昨今話題となった4つの作品を取り上げました。「えっ、こんな映画にもNPOの要素があったの!？」と驚くかもしれませんよ。



人々が北上川の流に乗って新しい時代の始まりを予感し、協力し合いながら前進しようとする姿を小さな芽に見立てています。

育む 集う 結ぶ

むうぶ

発行
特定非営利活動法人
いしのまきNPOセンター
連絡先 〒986-0832
宮城県石巻市泉町3丁目1-63
TEL/FAX 0225-23-0851
Eメール npo@i-port.ne.jp
ホームページアドレス
www.i-port.ne.jp/npo/

2004年
春
第6号

旬のNPO 特定非営利活動法人 石巻公共サポートセンター
理事長 佐々木勝男 氏 寄稿



私たちは、地域住民にとって最も身近な公共事業に関し、住民の立場から支援し、自治体の財政を圧迫している現状をふまえ、事業処理に要する経費を削減しながら、住民要望を實踐するにはどうあるべきかを考え、石巻圏域の市民、町民で結成しました。

また住民の中にも多くの技能を持った方々も多数あり、これらの人々の能力を活用する場を創設し、広く住民の為に発揮させることを第一の目的にして、このたびNPO法人を組織し、地域社会に貢献するため設立致しました。

そのため、住民が行政に積極的に参加することを促進し、最終目的として自治体における歳出の節減を図り、健全な自治体を構築することが、住民参加による住みよいまちづくりの基本であると考えております。

ただ、難点はこれまで行政と言う枠組の中で過してきたので、自分達では民間の発想と想っていても、本当の民間の方々から見れば物足りなさを感じます。現実的に民間人であることを誇りにこれからは常に前向きに物事に取り組んでいきたいと思ひます。

申請に至るまでの経過について、私たちは、石巻市役所を定年退職した者が中心になり、長年にわたる行政経験をいかにして住民に還元することが出来るかをこれまで考えてまいりました。

名称については40組くらいを考えましたが、行政事業を支援するNPOを前提に考え、カタカナ名、英語、など色々ありましたが結局一番平凡な、言ってみれば一番ダサイ感じの名称に落ち着いてしまいました。これも元公務員の抜けきらない体質のように思ひます。我々の団体は非営利活動の本来事業での活動で、営利を求めないことで平成15年12月16日に認証を得ております。一部に市役所のOBが自分達の再就職の場を作るためにNPOを立ち上げた等と思ひている方もいるようで、我々の目的を理解して頂けない誠情に情けない思ひをすることもありますが、本来の目標に向ってゆっくりと前進したいと会員で話し合っています。当面の自主事業を模索中で様々なことを考えております。

退職後の気力、体力、知力のいずれをとっても、定年を境に著しく衰えたとも思われず、一人の人間として社会貢献をする事が大切であり、自らの老後を幸せに送るためにも、これまで培ってきたものを、多くの人のために発揮することが、自らの幸せな老後となるのではと考えました。

連絡先
石巻市不動町1丁目5番地16号
理事長 佐々木勝男

特に私たちはこれまでの仕事の経験から、市内はもとより近隣の現場の状況などに精通し、定年によりその能力を家の中に眠らせてしまうことが、住民にとって大きな損失となるなどと大それた考えをもって設立しました。

むうぶ 育む incubate 集う communicate 結ぶ network
move [mu:v] 動かす、(精神的に)動かす、感動させる
新しい時代の胎動をNPOがつくるという思ひを込めて…。

いしのまきNPOセンター研修委員会 2003年度 事業報告

(1) みやぎNPO支援センターネットワーク事業

①人材基礎講座	2003年10月5日(日) 古川NPO支援センター	②資金調達決定版	2003年11月8日(土) 石巻ルネッサンス館
講話:「“市民のグレンデ”を守るスタッフたち ～不忘アザレアの事例より～」 講師:(特活) 不忘アザレア 常務理事・事務局長 木村 孝さん		講話:「蔵王山麓・ナショナルトラスト奮戦記 ～蔵王のブナと水を守る会の場合～」 講師:(特活) 蔵王のブナと水を守る会 理事・事務局 秦 静枝さん	

③みやぎNPO支援センターネットワーク懇談会	2004年3月3日(水) 仙台市市民活動サポートセンター
各センターの状況報告、悩み解決相互クリニック 「仙台市民オンブズマンに学ぶ!!」 講師:仙台市民オンブズマン代表 小野寺 信一さん	

(2) 企業とNPOの交流・連携のための巡回フォーラム

「企業が動くと地域はもっと住みやすくなる」	2003年12月15日(月) 石巻ルネッサンス館
第1部 ゲストからの事例報告 東北労働金庫宮城県本部 営業推進部次長 北 尚登さん (株)齋武商店 取締役 齋藤 祐司さん (株)街づくりまんぼう 石ノ森萬画館事務長 狩野 章さん	
第2部 「地域貢献で変わる!...企業と労働組合の現状とその未来」 講師:(特活) せんだい・みやぎNPOセンター 代表理事・常務理事 加藤 哲夫さん	

(3) NPOと行政のパートナーシップ

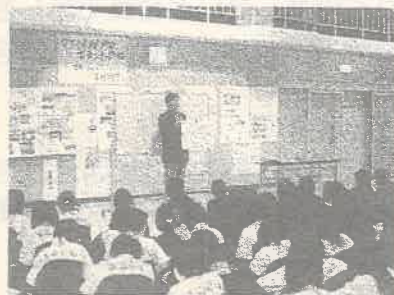
「高校生とNPOの架け橋」	2003年11月5日(水) 場所:石巻市立女子高等学校
第1部 「ボランティアとNPOについて」 講師:みやぎNPOプラザ 主事 佐々木 伸さん	
第2部 「今できるNPO・ボランティア活動」 講師:石巻を考える女性の会 会長 木村 美保子さん	



12/15 企業と連携フォーラムの様子

(4) んぽん舗研修事業

NPO「中間:支援の役割」	2003年11月13日(木) 場所:石巻市NPO支援オフィス
対象:山下中学校第1学年 10名 講師:(特活) いしのまきNPOセンター 事務局長 木村 正樹さん	
「NPOの基礎講座」	2003年11月22日(土) 場所:石巻市NPO支援オフィス
対象:石巻専修大学ボランティアサークルつばさメンバー 22名 講師:(特活) いしのまきNPOセンター 理事 男澤 清勝さん	



11/5 市女高での講演の様子

◆◆◆ 各回とも講演の資料がありますので、興味のある方はお問い合わせください ◆◆◆

シリーズ 人が支えるNPO ⑥
くみちゃんの おじゃましま〜す!!

今回は地域・国際貢献サークル フォーラ夢さんの総会にお邪魔させていただきました。会員のうち8割が女性のこのサークル、一見おしとやかな女性団体かと思えばメンバーは手に職を持ち、外国語も堪能なツワモノぞろい。どんなお話が聞けるのか楽しみです!

地域・国際貢献サークル フォーラ夢(以下、フォーラ夢)は「個人を尊重しながら、地域レベルで社会を考える」を理念に1999年に発足しました。ケニアへの援助活動、年に2回の国際理解セミナー開催、小中学校の総合学習への講師派遣などの通年業に加え、石巻市医療マップ(3ヶ国語)の作成、世界まる見え博覧会主催、ポリビニア民族音楽グループ「アルダナ」コンサート後援等、時には華やかな時には地味な国際交流事業を5年間に渡り着実に展開してきました。多岐にわたる活動を5年も継続しているなんて、ちょっと偉い!



サンファン祭りには民族ダンスで出演

ところが設立3年目を迎えた頃、これまで経験したことのないジレンマに直面しました。事業を展開するにつれその規模が大きくなり、活動資金を工面できなくなっていったのです。活動紹介の場となるはずの晴れ舞台、様々なイベントでは、「経費を稼がなければっ!」という思いが募り、物事を始める際の判断基準が金銭の大小に変わっていきました。よりよい国際理解を伝えよう!という本来の熱い目的が薄れていくのと同時にメンバーの疲労は蓄積され、何をやっても達成感の無い時期を過ごしたそうです。お酒の量も増えていたかも...(実は酒豪ぞろい。このインタビュー中にもテーブル上はアツと言う間に空ビンの山が...)「メンバーには虚脱感が漂い、これからは会を継続していけるのか少し不安になりました。」と副代表の鈴木さんは語ってくれました。そして、限られた資金を事務所維持にあてるのか、活動自体の充実にあてるのか、二者択一を迫られることとなりました。

そして苦渋の選択...事務所を閉めてから1年後、活動拠点を持たない事がもたらした影響は予想以上に大きいことが分かったそうです。貴重な経験から学んだことをここで発表してもらっちゃいます。「個々の役割を明確に決め連絡を密にすればやって

いける!と確信しても、互いの顔が見えなくなるとモチベーションは一機に低下しました。私達にとってやる気とパワーの源だったのは互いの意識を確認し合える、集いの場だったようです。」

フォーラ夢は新規一転、再び事務所を持つことにしました。これまでの活動は「国際色」が強いのでしたが、今年は、その名の一部でもある「地域」をもっと見直していくためのセミナーを企画。四季にふさわしいテーマに実習をおり混ぜた、「伝統文化を見直そう」は4回シリーズで開催。第1回は「贈るかたち」です。セミナーは二部構成で、一部では日本の「贈る文化」の講話を聴き、二部では祝儀袋と水引を実際に作ってみます。水引ってご存知ですか?あれって、自分でも作れるそうなんです。赤、白、金、銀の紐で色んな形を表現できる水引は奥が深そうですね。

さて、たくましく成長しつつあるフォーラ夢。活動資金の捻出はこれからも克服し続けなくては行けない課題のようですが、今後、望みどおりの事業と経費の捻出をどのようなバランスで進めていくのか見守ってまいります。



民族ダンス
フォーラ夢 with ワールドダンスチーム

◆◆◆フォーラ夢主催セミナー◆◆◆
伝統文化を見直そう!

テーマ:第1回 贈るかたち&水引講習会
日時:5月29日(日)13:30~15:00
場所:石巻文化センター
参加料:¥1500(材料費込み)
申込先:電話 070-6622-8105 鈴木